

令和元年7月3日

西部農林振興センター浜田農業普及部

標 題	浜田市旭町梨生産組合で勉強会を開催しました！
-----	------------------------

(ダイジェスト)

これまで生産組合としての活動がなかった旭町梨生産組合で、今年度の取り組みとして「勉強会」を初めて開催していくこととなりました。

第1回は、町内に設置している梨ジョイント仕立て実証ほの見学や、農薬の安全使用について説明し、意見交換を行いました。

旭町梨生産組合は、3法人と7戸の生産者で構成され、浜田市旭町山ノ内団地で梨の栽培に取り組んでいます。品種は、幸水・豊水を中心とした赤梨を栽培しており、平成元年から主に広島市等に出荷されてきました。

昨年度、改植事業の説明会の場で生産者から、「生産組合としての活動がない」「外部からの情報が入ってこない」といった意見を受けて、「勉強会」を年3回開催することを今年度の農業改良普及指導計画に位置づけ、このたび第1回を6月27日に、浜田市旭町山ノ内団地内に設置している梨ジョイント仕立て実証ほ（島根県農業技術センター栽培研究部果樹科運営）で開催しました。

当日は、4経営体の8名と関係機関（浜田市、JAいわみ中央地区本部）が出席し、当普及部からは実証ほの概要説明、農薬の安全使用について説明し、関係機関からは市単事業等の情報提供があり、最後に意見交換を行いました。

意見交換では、各生産者の生育状況等を報告し、先輩生産者からは地域の特徴を踏まえた認定新規就農者への助言もあるなど、有意義な勉強会になりました。

第2回は秋に視察研修、第3回は冬に座学を計画しており、関係機関と連携して生産者の支援を継続して行っていきます。



【意見交換の様子】



【梨ジョイント仕立て実証ほ】